

## 循環器疾患

- 代表的な循環器疾患として、高血圧、心臓病、脳卒中などがあり、なかでも脳卒中は、寝たきりや認知症の大きな原因の一つになっています。
- 循環器疾患は運動、食生活、喫煙等の生活習慣が発症に深く関わっており、生活習慣の改善により予防可能な疾病です。
- 高血圧、耐糖能異常、血中脂質の異常、喫煙、多量飲酒等が危険因子と考えられています。

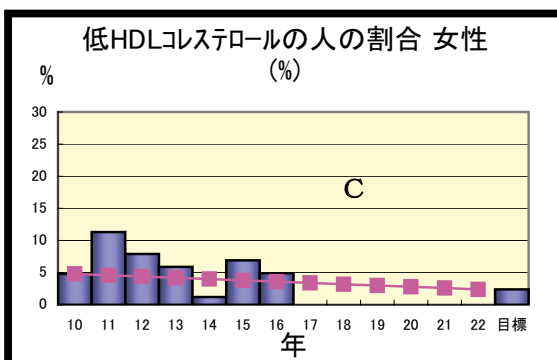
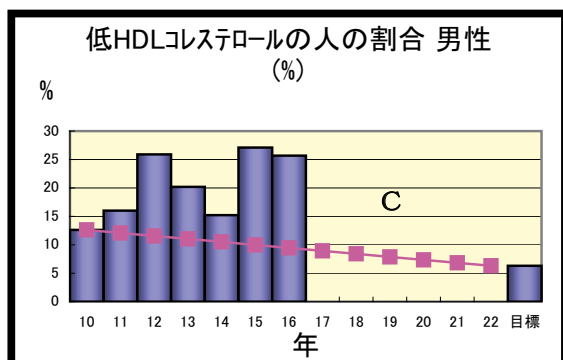
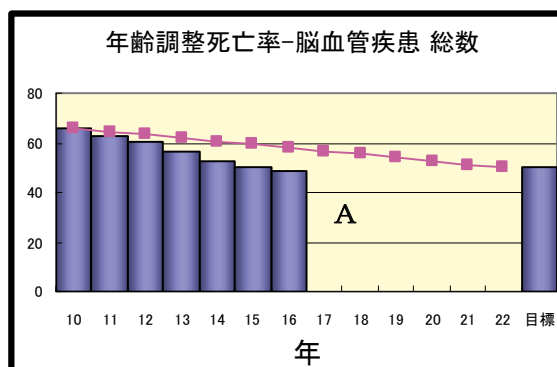
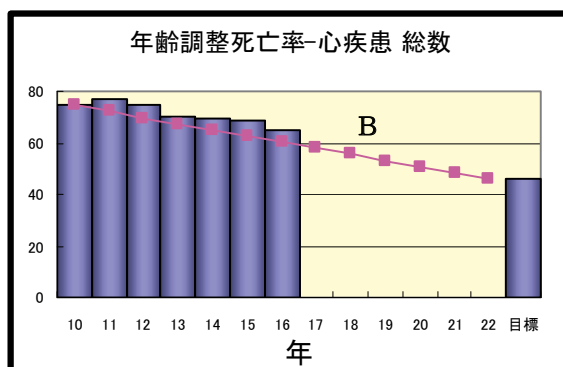
### 【中間評価の現状と課題】

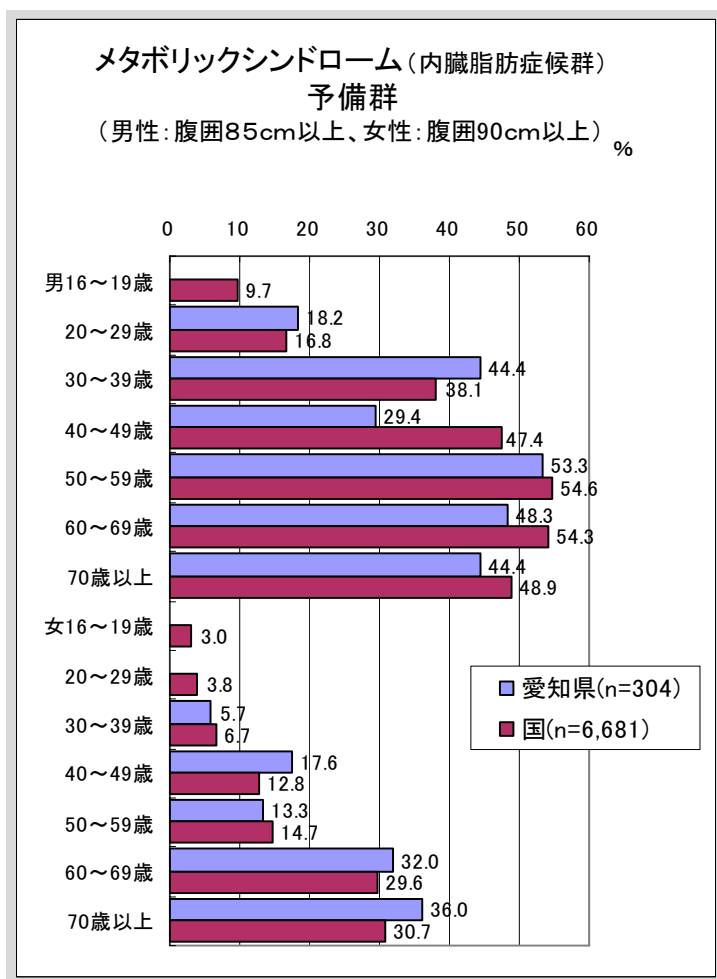
(中間評価における指標の達成等の状況)

分野	達成(A)	改善(B)	悪化(C)	保留(D)	不明(E)	合計
循環器疾患に 関係する指標	10 (27.8%)	18 (50.0%)	8 (22.2%)	0 (-)	0 (-)	36 (100%)

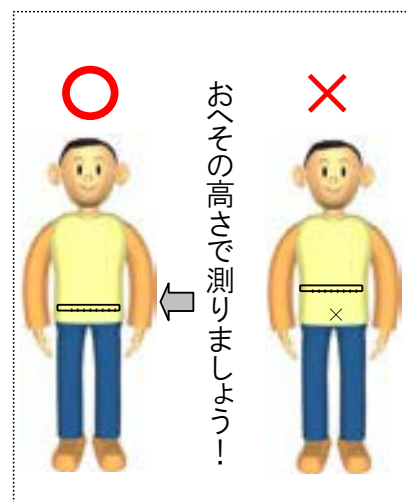
### (現 状)

- 平成16年の心疾患、脳卒中による死亡者数は、7,983人と5,991人で、2つの疾患を合わせると総死亡者数の約30パーセントを占めています。
- 市町村では、老人保健事業として基本健康診査を実施していますが、基本健康診査の受診率は年々上昇し、全国平均を上回っています。
- 循環器疾患による死亡率は、減少しつつあり、改善傾向にあります。
- 20～60歳代男性の肥満者の割合が、平成12年の22.0%から24.2%へと悪化しています。
- 基本健康診査における高血圧の者の割合は、減少傾向にあります。





資料:「国民健康・栄養調査」(平成 15 年)



**(課題)**

- 循環器疾患の危険因子を減少させるため、運動、食生活、喫煙等の生活習慣を改善する必要があります。
- 健診対象者の生活習慣等の把握が必要です。
- 健康診断の受診者をさらに増やすとともに、要再検・要精検者に対する受診勧奨などを行うとともに精度を管理する必要があります。
- 循環器疾患の発症状況を的確に把握するために、医療機関から循環器疾患の届出を促進する必要があります。

**【 取組方向 】**

**(県民自らの取組)**

- お酒を飲む時は日本酒なら 1 日 1 合、ビールなら 1 日中ビン 1 本にするなど、節度ある適度な飲酒に心がけます。
- 食塩や脂肪の摂りすぎに注意し、運動習慣を身につけます。
- 健康な食生活に関する知識を身につけます。
- 定期的に健康診断を受け、健康管理に役立てます。

**(関係機関の取組)**

- 循環器疾患予防に向けた知識の普及啓発を行います。
- 健康診断の受診率を高めるとともに、精度の管理に努めます。

**(行政の取組)**

- 循環器疾患予防に向けた知識の普及啓発を行います。